

権現山山行報告（平成 31 年 2 月 16 日（土））

前回、松田寄にロウバイの花を見に行ったときに、女性陣から「最近やっていなかったキムチ鍋をしましょうよ」というご提案があった。早速伊藤さんから 2 月の例会で、「2 月 16 日（土）に弘法山に行こう」という計画を出していただいた。その結果、リーダー：伊藤、荻野、神田（玲）、早坂、松山、三浦、陽田の 7 名が参加することになった。

食材料、鍋・ラジウス、お湯などは、それぞれ分担していくことになっていたが、結局食材料は全て伊藤さん、鍋・しゃもじ・ラジウス類は伊藤さんと三浦さんに持っていただいってしまった。伊藤さんが権現山に現れたとき、“ダブルストック”だったので、この程度の山でと疑問に思ったら、荷物が約 11kg にもなってしまったのでダブルにしたとのお話だった。ご苦労様でした。また、三浦さんの“ドラエモンの袋”からは、いつもながら色々な食物（液体燃料も含めて）が出てくるのだ。

当日、皆さんは 9 時 30 分に秦野駅に集合して出発する予定だが、私は登りが遅いのをカバーするために、高麗山のときと同様に、約 30 分先行して宴会の場所を確保（これ言い訳）することにした。

秦野駅からは川沿いの道をだらだら下り、約 20 分で登山口に着いた。ここからはかなり急な“Zig Zag”の登り道になる。しかし丸木とかコンクリート製の丸太などで、しっかり階段ができていて歩き易い。頂上のすぐ手前は以前には特に階段は無かったが、今は何本かのルートになって、放射状に階段ができていて、これも秦野市が手をいれているからだろう。土曜日だがまだ寒いからだろうか、登って来る人は少ない。

10 時半頃権現山頂上広場に着いた。まず一番広いベンチにリュックを置いて“責任”を果たす。今日は晴れてはいるものの薄雲があり、富士山は頂上付近の冠雪がうっすら見える程度だった。

10 時 45 分頃、皆さん全員がご到着。少し早いけど早速伊藤さんのリュックからいろいろな食材が出てくる。重い訳だ。お湯は皆さんからのご提供。アルミの鍋 2 個で料理が始まったが、私は“男子厨房に入るを許さず”見ているだけです、申し訳ありません。

少しずつハイカーが登ってきた。大形のビデオカメラとドローンを持っている人達がいる、「テレビ東京のものですが、ハイキングに来ている人達を撮影して、テレビ放送しますので宜しく」との挨拶があった。放送時間は不明と。このドローン、かなり長い時間飛ばしていた。一方「クラブツーリズム」の約 20 名位の団体が来て、初心者だろうか歩き方だの種々のテクニックの説明を聴いていた。秦野市も協力しているのかスタッフに職員も混じっていた。

さあーそろそろ鍋が煮えてきましたよ。皆さん食器を出して順番待ち。中には食器なしで食べるつもりの人もいたようでしたが。その点伊藤さんは心配りが素晴らしく、ちゃんと予備の紙食器・箸を持ってきてくれます。我々ふうふういいながら食べていると、腹と背に「富士見の湯」の看板をぶら下げた人が来て、是非どうぞとパンフレットと割引券を 7 枚くれた。土日¥1000 円のところを半額

¥500 にするという。正式名称は「日帰り温泉 名水はだの富士見の湯」とか。

かなりの量があったキムチ鍋もなんとか無くなり、それから「うどんすき」にすると。伊藤さん4玉も持参されたが、2玉だけ煮て戴いた。今度は三浦さんがお湯を沸かし、携帯一人用のドリップコーヒーを出してくれた。なんとも優雅ですね。皆さん満腹して、しばらく休憩、いろいろなお話が出たがあまり記憶していません。済みません。その中で一つ、荷物の重さの話で神田さんは「以前若い時（いや今でも十分若いですよ）北アルプスの山小屋泊縦走で13kg 背負いました」と披露された（凄い）。13時20分、ようやくお神輿を上げることになった。なんとなく弘法山→鶴巻温泉は止めになって、「富士見の湯」を視察することになった。割引券の効果か、美味しかったキムチ鍋で満腹したせいかな。

約30分後、13時50分に「富士見の湯」に到着。まだ建設後あまり日が経ってなくて、綺麗だ。ここのお湯はすぐ隣の「グリーンセンター」なるごみ焼却設備の排熱を利用して沸かしていると。しかし“温泉”と謳っていますが。泉質、効能は現在調査中とか。入浴後さっぱりしてから、休憩室で反省会。このところ話題がどうも町中の暗い話が多いのが気になる。2月の会の行事は終りで、次回は3月3日（日）の「四阿山」と3月28～29日の「角田山・弥彦山」です。そうそう“無料の内に”梅の花見に「偕楽園」（今年秋から有料）にも行きたい、櫻の花見は「一丁平」がよい などの話ができました。また3月の例会からは、17時30分開始になることが確認された。「小銭入れに小銭が沢山溜まるのは老化現象です」というお話は私にとって貴重なお話でした。注意しなければ。

16時過ぎにお開きにした。パンフレットでは“秦野駅まで徒歩20分”とあるが、疲れた今は30分以上掛るなど覚悟していたら、車で駅まで送ってくれるという、助かった。駅前でここからバスを乗り継いで帰るといふ早坂さんと別れてホームへ行くと、丁度16時30分の急行がきて、車内で流れ解散となった。

今回も正月初めからの晴天続きでした。富士山が少し霞んでいたのは残念ですが、あまり高望みしてはいけません。それにしても伊藤さんの重い食材料はご苦勞様であり有難うございました。今回は7名参加でしたが、会の行事にできるだけ多くの方が参加されるよう期待いたします。

以上 陽田

